

クマの被害にあわないために

青森県には
ツキノワグマが生息しています



要注意!!

- 目撃等のあった地域に住む人
- 野外で作業する人
- 山菜採りに行く人
- キャンプをする人
- 登山が好きな人
- 溪流釣りを楽しむ人

令和2年度版
青森県

何より、クマに出会わないこと…

クマの出没情報に気をつける

山に入る前には、新聞やテレビ、あるいは地元の人に聞いてクマの出没情報に気をつけるとともに、危ない場所には近づかないことが一番です。クマの出没標識にも注意しましょう。

音を出しながら歩く

山に入るときはなるべく複数で、しゃべりながら歩く、鈴を着ける、鐘を鳴らす、手をたたく、ラジオを付けるなど音を出して、クマにこちらの存在を知らせることが大事です。



早朝や夕方、霧の深い日は山に入らない

このようなときに、クマは活発に活動しています。

水流の激しい沢や風雨の強い日は要注意

お互い物音が聞こえず、バツリ出会う可能性があります。高齢者は特に注意。また、風が山から吹いているときも、人のおいがクマに伝わりにくいので注意が必要です。

クマのフンや足跡、食べ跡を見つけたら

近くにクマがいる可能性があります。すぐ引き返しましょう。



フン



足跡



皮はぎ

山菜採りに夢中にならない

すぐそばで、クマも夢中で山菜を食べています。

もし、クマに出会ったら…

遠くにクマを見つけたら

静かにその場を立ち去りましょう。

クマがこちらに気づいたら

まず、落ち着いてください。静かにしていれば、ほとんどの場合、クマは立ち去ります。

クマが近づいてきたら

クマの動きに注意しながら、ゆっくりと後退してください。

走って逃げる、大声、石投げは危険

クマを刺激しないことが大切です。クマの足は人間よりずっと速く、逃げるものを追いかける習性があるので、至近距離で出会った場合もすぐ逃げない方がよいといわれています。

子グマであっても近づかない

子グマのそばには、必ず親グマがいます。親グマは子グマを守ろうとするので、非常に危険です。決して、近づいてはいけません。



※突然の遭遇に対処するため、入山の際にはクマ撃退スプレーなどを携帯するようにしましょう。